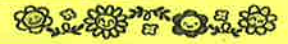


第4号 令和2年3月

# 出雲更生保護女性会だより



## 松江地方裁判所・更生保護施設「しらふじ」へ研修視察

### ☆松江地方裁判所を見学して

令和元年10月11日に、出雲更生保護女性会の会員52名が今年度の研修として、松江地方裁判所を見学しました。松江地方裁判所は島根県全体を管轄している本庁だそうです。私は、今回初めて法廷内に入り、法衣を着たり裁判官の椅子に座ったりして、実際の裁判の様子を想像することができ感動しました。現在、裁判所が努力されていることは裁判員制度に関することだそうです。本日ちょうど10年を迎え、裁判員として県民の158名が裁判に参加し、概ね安定的に運用がされてきているとのことでした。さらに裁判員制度を身近に感じてもらい、理解を深めていただけるよう、「裁判員制度10周年 Anniversary 広場活動の特設ページ」を開設し、出前講座・裁判所見学会の案内をしているそうです。

〈神西理事 岩成敬子〉



### ☆更生保護施設「しらふじ」を見学して

島根県唯一の更生保護施設「しらふじ」を訪問しました。しらふじの理事長あいさつからはじまり、施設内見学、施設の沿革と利用状況の説明をしていただく中で、手厚く更生保護の提供がなされていると感じました。また、施設の運営には物品、資金の寄贈が必要であることも強く感じさせられました。出雲更女からも寄付の物品と寄付金を持参し、手渡しされました。更生には、偏見や先入観のない場所が大切だといわれますが、「しらふじ」では、他団体へ施設を提供したり、様々なイベントを開催す



ることで地域社会との融和を大切にされていました。それは、たまたま出会った入所されている人の姿勢からも伺い知ることができました。「しらふじ」という施設名の由来もはじめて知りました。1時間15分の研修を終え、駐車場の片隅にある立派な藤棚を再度見て、実りある研修だったと思いつつ施設を後にしました。

〈朝山理事 江角寿栄美〉



愛の図書募金活動お疲れさまでした！

2,352,510円 募金集まる

146万円分の図書カードを寄贈

旧出雲市内 小学校13校 35万円、中学校7校・養護学校1校 20万円、  
幼稚園16園 31万円、保育園(所)34園 60万円

しらふじ会費2万円・しらふじ寄付金1万円手渡し

島根県愛の図書 20万円・島根県愛の募金10万円送金

令和元年第59回愛の図書贈呈式が12月6日に松江保護観察所でありました。・松江刑務所・島根あさひ社会復帰センター・松江少年鑑別所・中央児童相談所・出雲児童相談所・浜田児童相談所・益田児童相談所・更生保護法人しらふじ・島根県女性相談センターの各皆さまに、島根県内から集まった募金を愛の図書として、島根県更生保護女性連盟からそれぞれに手渡されました。その後、出雲児童相談所や更生保護法人しらふじ等から活用方法や利用している人たちの様子について報告がありました。〈副会長 山代恵子〉



## 更生保護制度施行70周年記念 第24回島根県更生保護大会

令和元年11月21日 上記の会がサンレディー大田に於いて開催されました。記念大会とあって来賓や受賞者、県下の更生保護関係者約500名が集い、功労者の顕彰を行うとともに当面の諸問題について研鑽を深める会となりました。出雲更女からは10名の方が受賞されました。だれにとっても、住みやすい、安心して暮らせる地域づくりのために、更生保護女性会の持つ役割の大切さを改めて感じました。

受賞された10人の皆さま おめでとうございます！

中国地方更生保護委員会委員長感謝状 澄田三枝子 様

中国地方更生保護女性連盟会長表彰 森脇絹代 様

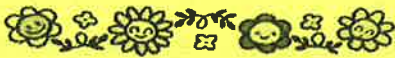
松江保護観察所長感謝状

宮本明子 様 ・ 江角和子 様 ・ 名原克枝 様 ・

中尾節代 様 ・ 吉川京子 様 ・ 鶴原栄美子 様 ・

高瀬泰子 様 ・ 嘉藤馥美 様

〈川跡理事 鶴原栄美子〉



## 島根県更生保護女性連盟 研修会

去る1月21日サンラポーむらくもに於いて開催されました。研修の趣旨は、『近年めまぐるしい社会情勢の変化の中で、更生保護女性会も様々な課題が生まれている。そこで講演を通して活動に必要なコミュニケーションの知識及び技術を学ぶこと、各地区会における活動状況等情報交換を行いながら、会員相互の親睦を深めることにより、さらなる活動の充実、発展を目的とする』。講演は「コミュニケーションについてのお話と楽しいゲーム」で認定NPO法人あしづえの園山土筆様の体験を通してコミュニケーションの大切さと有田美由樹様にコミュニケーションゲームを学びました。出雲からは4名参加しました。



〈事務局 安喰公美〉

## 令和2年 出雲更生保護女性会新年会

去る1月23日令和になり、初めての新年会がリッチガーデンにて29名の出席のもと開催されました。園山会長から私たち更女の役割の大切さについて、あいさつがありました。続いて昨年11月に70周年記念式典で表彰された10名の方々に記念



品が贈呈されました。受賞者を代表して澄田様からお礼が述べられました。そして鐘築顧問の乾杯の音頭で食事・歓談に移り、途中表彰者から長年にわたる経験談を交え謝意を表されました。さらに初企画「全会員への参加呼びかけ」によりお出かけいただいた最年長の神門地区布野登美様（95歳）から、大先輩として出雲更女の礎を築かれた貴重なお話を伺うことができました。記念撮影の後、頭と体をフルに使うゲームは笑いあり、ユーモアあり、また、景品はユニークなチーム順に渡される等楽しく賑やかなひとときでした。最後に嘉藤副会長の閉会の言葉で和やかな新年会を終えることができました。

〈高松理事 吾郷千春〉



記念すべき令和の年に、更生保護活動に参加され受賞されました10名の皆さまおめでとうございます。隣席の布野さんに話を聴いていますと高齢でも料理ができ、食も良く見るからに生き生きとしておられました。元気をたくさんいただきました。布野さんに見習って健康でよい年になるよう頑張りたいと思います。会場も和やかな雰囲気になっていて、健康的で楽しい親睦の深まった新年会でした。

〈高浜理事 内藤秀子〉

私は、一月にこの会の新年会に参加してゲーム等で楽しい時を過ごしました。令和元年には、身に余る感謝状をいただき恐縮しております。この会に入会して早十数年が経ちました。最近では老化が進み、あの頃は若かったなあ～と振り返っております。



活動の中で感じたことは、すべての活動には予算が必要だということです。なのでこの会の募金活動はとても重要な活動と実感しています。募金については苦労や悩みがありますが、それにめげることなく続けようと思います。

〈受賞者 澄田三枝子〉